

第一回 地域連携推進会議

日時：令和7年12月10日(水) 15:00～16:20

会場：恵庭光と風の里2階会議室

参加者：Aさま(恵庭光風会 恵庭光と風の里 利用者)

Bさま(光風家族会)

Cさま(恵庭市駒場中央町内会 会長)

Dさま(恵庭市障がい福祉課 主査)

丸子智子・津川卓也・池田好伸・武田生吹・越村梓(恵庭光風会 恵庭光と風の里)

●本日の地域連携推進会議の流れ

15:00～15:30 ①男性荘、女性荘、厨房見学

15:30～16:10 ②恵庭光風会について（法人理念）

③恵庭光風会について（光と風の里理念）

④事業計画、入所について

16:10～16:20 ⑤質疑応答

●議事内容

①男性荘→厨房→女性荘の順で見学。

各荘入浴環境、活動場所、リハビリ機器や運動器具などを見ていただく。

厨房については、各利用者の食事対応の工夫等説明する。

女性荘では通常の活動部屋に加え、製袋作業の活動部屋の説明を行う。

短期入所の居室を見ていただき、緊急時などもいつでも利用できるよう準備をしている。女性に関しては月の半分以上は利用で埋まっており、1日に3名の受け入れの場合もあることお伝え。

②恵庭光風会の理念について、資料を用いて説明させていただく。

③『障がい者支援施設 恵庭光と風の里』理念を説明させていただく。

④事業計画、入所について

- ・地域移行について、制度を説明。日中支援型 GH、包括型 GH への意向確認や、移行を進めている。本日も3泊4日で GH の体験を行っていることをお伝えしている。
- ・行事として、季節ごとの余暇の催しについて事例を交えて説明。
- ・意思決定支援について、絵カード等を使用し意思を表出するのが難しい方の支援方法について事例を交えてお伝え。

- ・身体拘束適正化委員会、虐待防止委員会は、ご家族の方も入っていただき開催しており、開かれた会議となっており、日々の支援の見直しなどを行っている。
- ・重度高齢化のため、健康観察がこれからも必要となってくる。見守りカメラ、ベッドセンサーマットの必要性について、ドクターメイト(夜間オンコール事業)の使用についても触れる。
- ・変則勤務で情報共有が難しいが、朝会はインカムを用いて出勤職員に通達し、会話ができる様になっている。

⑤質疑応答

レスパイトケアとは？

→ご家族に休んでいただく、という意味合いでの短期入所利用方法。
特にご用事がなくても利用を出来ますことを説明。

通院の対応は？

→対応している。基本的には看護師が対応しているが、ケースによっては支援員と一緒に行くことある。

散髪についてはどうなってますか？

→訪問カットを利用。男性は月末に実施。女性も月末に実施し、その他市内の美容室へ行っている方が数名いる。

平均年齢について。

→男性平均 50 歳、女性 47 歳。一番低い方で男性の 31 歳、高い方で女性の 75 歳。

車椅子の方について。

→男性 3 名、女性 3 名いらっしゃる。

定員 60 となっているが、オーバーはしていないのか？

→現在定員 58 名で支援している。

支援者 26 名になっているが、巡視などどのようにやっているのか。

→男性 2 名、女性 1 名が夜勤で入っている。遅番勤務が 21 時までいるが、その後は原則夜勤者のみとなっている。

